

れんぎ  
認定特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会

【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13 1 階

Tel:03-5206-5260 Fax:03-5206-5261

Email:yunnan@jyfa.org URL:http://www.jyfa.org/

【雲南支部】中国雲南省昆明市人民東路 289 号集大広場 2011 室  
Tel.+86-871-63311468 Fax.+86-871-63320658

f http://www.facebook.com/NPO.JYFA @jyfa

ブログ 雲南の郵便屋さん 検索

編集・発行人 初鹿野 惠蘭

印刷協力 昭和情報プロセス(株) (株)技術評論社/デザイン Hope Company



Japan Yunnan  
Friendship Association

# 彩雲の南

## 第75号

発行日 2021年(令和3年)3月15日

会報

## 「25の小さな夢基金」

里親サポーターの皆さんからの春節の贈り物とお手紙を春雷生に届けました

# たくさんの愛が詰まった贈り物とお手紙が

## ～愛心在这里凝聚～

# 春雷生の手に

里親サポーターの皆さんから昨年秋に募集した春節の贈り物とお手紙は、12月に2回に分けて雲南支部へ発送しました。例年は初鹿野理事長が雲南に持参し春雷生に直接手渡していますが、今回は新型コロナウイルスの影響で残念ながら現地へ行けず、国際郵便で送りました。

国際郵便もコロナ禍の影響でいつもより時間がかかり、税関でも足止めされ、約2か月かかって何とか春節前に雲南支部に到着



しました。1月28日に贈り物と手紙、2020年度分の支援金を春雷生に渡せたことをご報告します。春雷生が喜ぶ姿を見られないのは残念ですが、雲南支部から当日の写真を送っていただきました。

今回は東京本部と雲南支部、現地ボランティアが協力し、新型コロナウイルスの障害を乗り越えてやっとの思いで生徒に贈り物を渡しました。コロナ禍や試験勉強など大変な状況の中、里親サポーターからの贈り物とお手紙に生徒たちはとても喜んでいました。日本、中国の各地から応援してくださる里親サポーターをはじめ、お手紙の翻訳ボランティア、現地ボランティアの皆さんのおかげで、春雷生たちは元気に勉強できています。一人でも多くの子供たちが教育を受けられるよう、協会は引き続き努力してまいります。



ボランティアの皆さん



## いろとりどりの贈り物

サポーターの皆さまからの「25の小さな夢基金」春雷生へのお手紙と贈り物が12月25日、雲南支部に到着しました。1月5日に支部スタッフと現地ボランティアの皆さんが中身を確認し、春雷生に手渡すための仕分け作業をしました。皆さんのおかげで作業はスムーズに進みました。ご協力いただき、ありがとうございました。

ボランティアご協力  
(順不同、敬称略)  
丁美蘭、馬宏翔、  
肖涵予、馮瑞



## 「25の小さな夢基金」

# 春風に乗って感謝の想いが届きました

## 「山谷を超えて私たちのもとへ届いた愛」

この世に三月のぬれた春風が吹くなら、愛は草花から萌え出づる新緑。この世に初夏のまぶしい陽射しが差すなら、愛は木々が成長した濃い緑。愛が冬の真っ白な雪なら、日本の愛に満ちた皆さまの思いやりは、暖かな陽光のように春雷生の暮らしを明るくしています！

最近、春雷生達は期末試験に向け寸暇を惜しんでラストスパートしています。プレッシャーの中、日本の皆さまからの手紙と贈り物が、春雷生達にたくさんの元気で笑顔を届けました。春雷生の一人として私も喜びで一杯です。

他の春雷生に贈り物のことを聞くと、誰もが口を揃え、とても気に入ったので勉強の励みにしてもっと頑張ると言います。

そうです。落ち葉が舞い踊るのは育ててくれた大地に対する木々の感謝です。雲がたなびく晴天は白雲の青空への感謝です。頑張っていて良い成績を取ることは、春雷生が今できる一番の恩返しです。

日本の皆さま、ありがとうございます。私たちに評価や励まし、希望をくれたのは皆さまです。これはお金では買えません。私たちに前進するエネルギーと勇気、方向性をくれたのも皆さまです。私たちが安心して学業に専念し、夢を追うことができるのも皆さまのおかげです。冬が訪れ寒くなる前夜、思いやりの心が険しい山谷を超えて私たちに届きました。

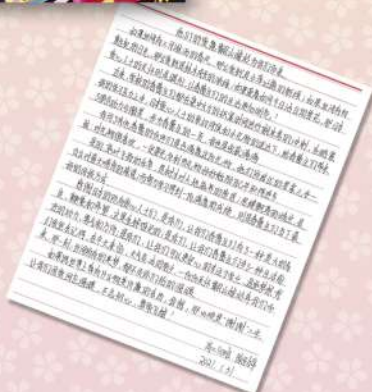
この世のどんな素晴らしいものも、皆さまの温もりにはかないません。

もしこの世界に、本当に価値のあるものがあるなら、それは「ありがとう」という言葉だと思います。私たちは皆さまからの温もりを胸に、初心を忘れず勇敢に飛んでいきます！

2021年1月31日  
陳聖錦  
(2年生・イ族)



陳聖錦さん



## 「真冬のご挨拶」

窓の外の木蘭が枝いっぱい花を咲かせ、春が近いことを告げています。外の気温はまだ二度と寒い中、春雷達は静かに自習していました。

「支援者の皆さんから手紙が来ましたよ。素敵な贈り物も」。この知らせが届くと、みんなあつという間に大騒ぎになりました。誰もが待ちきれずに、たくさんの手紙から自分へ向けられた温もりを探しました。それは真冬からのご挨拶です。

「日本にいる支援者の皆さま本当にありがとうございます。温かさを感じます」、「長く実家に帰っていないので、贈り物を受け取って心が温まりました」、「この冬が暖かくなりました」、「心がほかほかです」これが春雷生の心からの声です。手紙を読んだ後は、何か考える子、涙をにじませる子、遠くを見つめる子、様々でした。でも皆一様にペンを取って、丁寧に感謝の返信を書き始めました。みんな真剣で、まるで大学入試のような表情でした。しんとした教室にペンが走る音だけが響き、窓の外には月が光っていました。

「みんな、この贈り物はどうやって使う?」というクラス長の問いかけで、教室はまたにぎやかになりました。「この小さなポーチはとっても素敵だから、毎日持っていられたらいいかな、小さな赤いポーチを受け取った子が言いました。「この手提げはすごく綺麗だから、次に家に帰る



楊映霞さん

時に使おう。ね!ととても誇らしいわ、大きな手提げを受け取った子が言いました。それぞれのストーリーが素晴らしい夜に溶けていきました。

私達も、皆さんに近況をお伝えます。学校では明るく自信をもって過ごしています。生活のつらさも彼女たちの情熱を消せません。友人の励ましが信念を強め、学校から送られる毛布で心も暖まります。「博学多思(広く学びたくさん考え)、自律奮進(自ら律し奮って進む)、文明達観(文明は達観し)、自然優雅(自然は優雅なり)」という校訓を、みんな心に刻んでいます。勉強も生活も頑張っていて、いい成績を取って皆さまの期待に応えます。

真冬のご挨拶は、春雷達を暖かく、明るくしています!

2021年1月30日  
楊映霞  
(2年生・イ族)

翻訳:佐々木理沙さん  
(25の小さな夢基金サポーター)

連載 「25の小さな夢基金」 Vol.8 親愛なる日本雲南聯誼協会の皆さま  
**卒業生の今** 楊順さん 2013年入学 第8期生 ペー族

皆さまこんにちは！  
 高校を卒業してもうすぐ5年になります。近藤おじさまや皆さまのご様子がわからない中、少し前に同窓会がありました。そして今年の1月に、おじさまからのお手紙と協会についての情報をいただき、感謝しています。遠く海の向こうの皆さま、どうぞお体には十分に気をつけてください！  
 高校卒業後は、私は固い決意をもって医



学部の中医学科に進み、5年間の勉強を終えようやく今年の6月に卒業です。高校の時の6月と同じ、また新しい旅立ちです。あの時と違うのは、今後は社会に出るということです。しっかりした目標と、守りたい人がいます。高校を離れてからは皆さんとは連絡がありませんでしたが、仕事が落ち着き大学での日々を思い返し、何度もこの時のことを皆さんと共有したいと思っていました。  
 日本雲南聯誼協会との友情はもう8年余りになるのに、皆さんと一度もお目にかかっていないことをずっと気にしていました。この時の気持ちを思い返すとなんとも言えなくなります。特にこのコロナの影響の中、遠く日本の皆さまは無事でいらっしゃるだろうかと心配しています。  
 故郷の父も祖母も元気です。妹も看護師専攻として医療の道に進みました。祖母は高齢ですが、体はまだまだ元気です。コ

ナの影響はまだ大きいですが、故郷は大都市からは離れているので、それほどではありません。とはいえ皆さま、感染予防をしっかりとください。皆さまが無事に過ごされ、ご家族も健康で幸せであることを願っています。  
 高校の3年間を思い出すと、勉強では絶対に両親をがっかりさせてはならないという気持ちでした。両親の期待もですが、私達のために善意の支援をしてくださった協会の皆さまの思いや願いを背負っている思いでした。学校では更に強く責任感を感じていました。いつも成績が出るたびに、「よかった、今回もみんなをがっかりさせずに済んだ」とホッとしていました。幸運にも無事に希望の大学に進むことができ、もうすぐ卒業です。想像していたほど苦しい道のりではありませんでしたが、私が暗闇を歩いていた時に寄り添ってくださった近藤



おじさま、ずっと助けてくださった協会の皆さま、私を守ってくださってありがとうございます。もうすぐ社会に出ますが、これからの道も、諦めることなく歩んでまいります。最後になりましたが、日本雲南聯誼協会の皆さまの3年に渡るご支援に、心からの感謝を申し上げます。どうぞ皆さまがご健康で、お仕事も順調でありますようお祈りしています。  
 2013年入学 第8期生 楊順 (ペー族)  
 翻訳: 栗田久里子さん  
 (「25の小さな夢基金」サポーター・翻訳ボランティア)

「25の小さな夢基金」 春蓄生の夢を支えてみませんか？

**少数民族の女子教育支援** **里親サポーター募集**

「25の小さな夢基金」の春蓄生180名が昨年9月、昆明市女子中学(日本の高校に相当)に入学しました。これまでに123名\*の生徒の支援決まり3年間支援を受けられることになりました。  
 皆さんも里親サポーターになって春蓄生を応援しませんか？彼女たちの成長を見守り、「高校卒業」という夢を叶えるお手伝いをしたいだければ幸いです。  
 ※2021年3月2日現在

税額控除方式で個人の方からの寄付金から控除される金額

◀年間3万円のご寄付の場合▶

国税分	3万円-2,000円×40%=11,200円
+	
地方税分	3万円-2,000円×10%=2,800円
合計	14,000円

寄付金から2,000円を引いた額の最大50%(所得40%+10%)が戻ってきます。

※「25の小さな夢基金」への支援は税額控除の対象になります。詳細は協会公式HPの「25の小さな夢基金」のページをご覧ください。皆様のご支援をお待ちしております。

**翻訳ボランティア募集中!**  
 あなたの時間と経験をみんなの笑顔のために！  
 少数民族地域で育った彼女たちは様々な困難を乗り越え、「昆明市女子中学」で学んでいます。そんな彼女たちから里親サポーターの皆さんに届いた手紙を、翻訳していただくボランティアを募集しています。  
 中国語を学んだ経験を生かしたい、自分の語学力でみなさんに喜んでもらいたい、そんな思いで協力していただける方、ご応募お待ちしております。質問などございましたら、下記の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください！  
 お時間のある時に在宅でできます！  
 中国語勉強中の方も大歓迎いたします！  
 TEL 03(5206)5260 yunnan@jyfa.org

「25の小さな夢基金」 **日本語授業始動!**

「25の小さな夢基金」で支援する昆明市女子中学の春蓄生向け日本語クラスが再開します。授業のオリエンテーションが1月4日に開かれ、生徒たちの期待も高まっています。授業は日本語教育の専門、新世界教育集团(桜花国際日本語昆明中心)の協力で実現します。ご協力に心より感謝申し上げます。



「25の小さな夢基金」 **支援決定通知書を昆明市女子中学に届けました**

「25の小さな夢基金」では今期も9月に新入生180名が入学。そのうち96名\*の春蓄生の里親サポーターが決まり、昨年12月10日(木)、雲南支部職員の胡安静さんが春蓄生が在籍する昆明市女子中学に行き、許瀛主任に直接、先に決まった89名分の支援決定通知書をお渡ししました。 ※2020年12月10日現在



▲昆明市女子中学にて許瀛主任(左)と雲南支部の胡安静


「25の小さな夢基金」 **春蓄生の夢を育む心の絆**

**サポーター・関 晃典さん**

元笹川平和財団理事長の協会会員、「25の小さな夢基金」サポーターでもある関晃典さん。「25の小さな夢基金」でこれまで3名の生徒を支援して下さったほか、「新型コロナウィルスマスク支援」でもご協力いただきました。

私と「日本雲南聯誼協会」とのお付き合いはもう20年になります。協会の活動の中で一番私の心を打ったのは「25の小さな夢基金」です。  
 目覚ましい経済発展をとげる中国にも、家庭の事情で学びたくても学べない子どもが多くいます。その学生を支援すれば、彼女たちは学習意欲を満たすことができ、同時にサポーターに感謝するでしょう。支援を通じて彼女たちに「日本サポーター」になってもらうことが、日本と中国のより良い

友好関係に寄与すると思い、私も3人のお世話をさせていただきました。彼女たちは節目節目に丁寧な近況報告の手紙をくれ、どの手紙にも支援のおかげで勉強できることへの感謝が溢れていました。そして高校卒業後、全員進学し学習意欲の強さを実感しました。  
 「25の小さな夢基金」で支援した学生は980名に上るそうですが、コロナ禍の中、そのうちの231名が恩返しとしてマスクを送ってくれました。なんと嬉しい事でしょう！マスク不足の時に私も100枚ものマスクをいただき本当に助かりました。  
 「25の小さな夢基金」の卒業生とサポーターは、いつまでも心がつながっているよう望んでいます。また、彼女たちが日本の企業に就職してくれたらなんと素晴らしいことかと、ひそかに思っています。「25の小さな夢基金」のすばらしさを理解するサポーターが増え、より多くの学生の支援ができればと思います。  
 関 晃典



連載

一協会を支えてくださる協力企業からのメッセージ

# こんにちははCSR

## 第26回●株式会社 スマイル

株式会社スマイルは、コーポレートスローガン「Amazing Life Creative Smile」(生活を楽しく、笑顔を創る)を掲げ、CSR活動を行っています。東京湾へ続く運河が窓一面に広がるオフィスで、坂本英樹執行役員に社会貢献への想いを伺いました。

### 会社概要■

1977年6月、包装資材の製造販売を目的とし、西武化学工業の子会社として東京都中央区に日本流通資材(株)を設立。1991年株式会社ウイムマーケティングと株式会社ワールドインポートマートと3社合併。1995年(株)スマイル(西友100%資本)との合併で社名を(株)スマイルに変更。包装資材、食品・酒類、生活雑貨を中心に商品の企画から調達・物流までをコーディネートし、顧客ニーズに合わせたサービスを提供する総合商社。

所在地：〒135-0052  
東京都江東区潮見二丁目8番10号  
潮見SIFビル4F  
TEL：03-6743-7070(代) FAX：03-5677-2302  
HP <http://www.smilecorp.co.jp>

社会貢献活動のきっかけは2016年。長野県に聴覚障害者の手助けをする聴導犬を育てる施設があります。そこで消毒液が足りなくなり、消毒液を定期的に無償配布したのが同社のCSR活動の始まりでした。現在は協会の「25の小さな夢基金」にも参加し、3名の学生の支援をいただいています。

坂本さんは「たった一つのきっかけで子どもたちはいい方向に一步踏み出します。」



### ■スマイルの経営理念

「私たちは、社会とパートナーの継続的發展に貢献することで自らの幸せを実現します」  
私たちの仕事は、まず社会とパートナーの皆様に、喜んでいただけるものでなくてはなりません。その結果を生み出す為には、『人—社員』も充実した社員育成制度と、やりがいのある仕事によって、自らが『スマイル—笑顔』にならなければ、と考えています。



坂本英樹執行役員



スマイル本社ビル

そのためにはその“機会”を失ってはいけません。夢に向かって努力する少女たちが、支援を通して何か変わるきっかけになればと思います。私たちは支える側として、子どもたちの笑顔を輝かせるために貢献したい」と、真剣な眼差しで話されます。年に数回春蓄生から届く「手紙」には知識を得る喜び、友達と一緒に学ぶ喜びが綴られ、成長を見届けるのが楽しみだそうです。

スマイル社の考える社会貢献については「経済的な豊かさだけでなく、心の豊かさを支えていくことも大切。損得だけではできないことを裏側で支えていく。それがスマイルならではの社会貢献ではないかなと考えます」とのこと。人々の生活を楽しくするために自分たちは裏方をつとめるという姿勢で、企業名が示すように雲南省まで「笑顔」を届けています。



取材先の本社ビルはとてもお洒落な雰囲気 終始和やかな雰囲気で行われました

※CSR=Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任) : 利益を追求するだけでなく、組織活動が社会へ与える影響に責任をもつこと

## 協会ボランティア通信

### 大宮支部特集

### 大宮支部の鉄人!

#### 連載 第10回 大泉國雄さん



大宮支部の皆さんと(右端が大泉さん)

日本のコメは何処から来たのかと関心を持ち、中国揚子江上流にある雲南省にコメの原種が育っていると知り、2002年雲南大学に1年間入学。その時に写真家の黄先生と知り合いました。黄先生は雲南省科学技術館の館長で、雲南省各地の田舎の生活を写真に撮り、記録写真集を発行しました。2005年、川口総合文化センターで、黄先生を招き雲南省の写真展「地面に

最も近い人達」を開催。2011年再び雲南大学に半年入学し、翌年、自分の田舎の山形で雲南の写真展「耕して天に至る」を開きました。2004年、上尾文化市役所ギャラリーで「雲南風情展」を見て、協会に入会し、寺内さんと知り合い、大宮支部の活動に参加しています。支部の活動は、1月寺内支部長宅での新年会、2月上尾文化センターでの新春パーティー、5月さいたま市民の森見沼グリーンセンターでの国際友好フェア

大泉さんは2004年に上尾市が開いた「雲南風情展」をきっかけに入会していただきました。大宮支部のイベントにいつもお手伝いに来ていただいていたが、あまりお話しする機会がありませんでした。初めての写真展を浦和で開催した際、雲南に1年間留学したこと、中国語をずっと勉強されていることを知りました。また習字と絵がお上手で、ボランティアで最年長であることなど私の知らないことばかりでした。一年前の87歳の時に武甲山(埼玉県秩父地方にある標高1,304mの名山)に登ったそうです。

と支部長宅での大宮支部反省会、6月浦和パルコでの雲南写真展、10月浦和パルコビル前広場でのさいたま市国際ふれあいフェアと上尾市民会館での上尾ワールドフェア等です。それぞれのフェアでは、雲南省少数民族のカラフルな衣装の試着ができ、多くの日本人に雲南省を知ってもらおうと、努力を続けています。面積の9割以上が山地で、漢民族と25の少数民族が住む雲南省は、自然は豊かで美しく、人の心は暖かさに満ち溢れていますが、経済的には恵ま

私も今年登りましたが、大変な体力が必要でした。コロナ前のイベントでも平気で重い荷物を運んでくださるのを見て本当に驚きました。これからも元気でいてください。

大宮支部長 寺内明子



れず、国は脱貧政策をとっています。昆明で春蓄生の卒業式に立ち会った時に、「日本にも少数民族はいるのですか?」と尋ねられたことがあります。その時、少数民族の気持ちが少し解ったような気がしました。雲南省の自然の美しさ、そこで暮らす人々の生活を一人でも多くの日本人に活動を通して伝えて行ければと願っています。

大泉國雄

## 若々しいチャレンジ精神で「若者」と「国際協力」をつなぐ

日本雲南聯誼協会

### 東京本部 新職員ご紹介

清川絵夢  
きよかわ えむ



はじめまして



皆さまこんにちは。  
中央大学を卒業し協会で主に広報と「25の小さな夢基金プロジェクト」を担当している清川と申します。月日の流れは早いもので私が協会に携わり始めてもう2年が経ちました。

大学時代にアルバイトとして協会に入った2か月後、あれよあれよという間に「ふれあいの旅」に同行して雲南へ出張、私は生まれて初めて中国を訪れました。アジアへの関心がもともと強く、世界の少数民族が大好きな私にとって雲南省はとても居心地のいい場所

です。出張先で出会った人々を今でも鮮明に記憶しています。

「民族のるつぼ」と言われる雲南省には多様な人々が暮らし、様々な文化が渦巻く中で他民族同士仲良く生活しています。「多様」と一言で言いましたが、よく観察すると違う民族同士でも通じる文化や慣習があり、「文化のグラデーション」を感じることができます。私にとって、その気づきが確信に変わった「The DNA Journey」という動画があります。世界各国の人々がDNA実験を通じて自分のルーツを知り、自分自身が「世界のグ

ラデーション」であることに気づかされる内容です。それからは、遠く離れたように感じる人も自分に関係しているのだということ自身を軸として活動しています。日々の業務では、会員やボランティアの方々のたくさんの優しさや温かさに触れ、皆さんと力をあわせたらどんな素敵なことができるだろうと胸躍らせています。

これから皆さんと手を取り合い、より良い国際社会づくりに踏み出していく手助けができるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

「25の小さな夢基金」や広報に関するご質問などございましたらお気軽にご連絡ください。

東京本部 清川絵夢

ご報告

「認定NPO法人」資格更新のご報告とお礼

「認定NPO法人」資格が5年の期限を迎え、2月1日付で東京都知事による認定NPOの資格が更新されました。協会の組織運営が適正で、公益性が高いと認められたため、協会への寄附金、支援金等は引き続き税法上の優遇措置を受けることができます。皆さまのご支援・ご協力により認定更新できましたことを心より感謝申し上げます。

認定NPO法人

一般から広く支持を得て、適正に活動や組織運営を行い、多くの情報公開をしている等の基準を満たしていることを都道府県から認定された特定非営利活動法人(NPO法人)のことです。認定期間は5年です。

皆さまからの善意のご寄附は雲南の子どもたちへの教育支援事業に使われます。今後も皆さまのご支援を宜しくお願い申し上げます。

ご報告

夢を抱く子どもたちのために～新顧問ご紹介～

魏顧問は雲南省僑聯弁公室主任や副秘書長を歴任、現在は雲南省僑聯芸術団の団長をされています。協会が雲南で活動する際に多大なるご協力をいただいております。更なるご指導をお願いいたたく顧問就任をお願いしました。

魏羅羅 顧問



皆さん、初めまして。日本雲南聯誼協会の顧問をつとめさせていただきますことはとても光栄です。雲南の山奥で夢を抱いている子どもたちのために、初鹿野恵蘭理事長とともに頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。雲南はとても美しいところです。皆さまのご来訪を心よりお待ちしております。

ご寄付のお礼

2020雲南省少数民族児童教育支援チャリティーゴルフコンペ中止に伴う寄付のお礼

「25の小さな夢基金」の春蓄生支援のために開催してきた「雲南省少数民族児童教育支援チャリティーゴルフコンペ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止させていただきました。その代わりに昨年10月より寄付を募り、たくさんの皆さまから寄付が寄せられました。5名の春蓄生を支援できるようになったことをご報告申し上げ、厚く御礼申し上げます。

ご寄付いただきました皆さま、ありがとうございました。

■ご寄附(順不同、敬称略)

株式会社村上製本所、メディネットインターナショナル株式会社、株式会社加藤文明社印刷所、山口幸男、柴田俊之、中村栄一、村田昭二、矢田部禎夫、清水雄輔顧問、東郷浩顧問、新井淳一顧問、片岡巖顧問、遠藤功副理事長、森正一郎理事

「25の小さな夢基金」チャリティーコンペから新たに支援が決定した5名の女子高生



陶麗麗さん 漢族 昭通市出身



白夢雪さん 八二族 昆明八二族イ族自治州出身



張慧勤さん イ族 楚雄イ族自治州出身



劉非玲さん スイ族 曲靖市出身



曹丹丹さん 以東 楚雄イ族自治州出身

新型コロナウイルスが一日も早く終息し、今年はチャリティーゴルフコンペで皆さまにお会いできることを心より願っております。

ご報告

未来を担う留学生が牧場訪問! (福島県天栄村)



初鹿野理事長と蘇鑫さん(ボランティア)、留学生など協会関係者7人が昨年11月13日と14日、福島県天栄村の那須高原農業組合法人「天栄牧場」を訪問しました。他のメンバーは林理事と事務局職員、東京理科大学、上智大学、東洋大学の留学生3名です。同牧場では競走馬を引退した牝馬を育てており、5頭の馬とふれあった後、代表理事

の深井様のご厚意で夕食をごちそうになりました。食事中、においを嗅ぎつけた野生のたぬきが現れ、初めてたぬきを見た留学生は興味津々。1泊2日の日程でしたが、自然に囲まれリフレッシュしました。

紅葉の季節でもあり、福島県内の紅葉狩りスポットで日本の四季も堪能できました。天栄牧場の皆さまありがとうございました。

おたよりコーナー

民族衣装に魅了されて 翻訳ボランティア 永野千絵さん②

翻訳ボランティアの永野千絵さんからいただいた、昨夏の雲南旅行のおたよりと写真を紹介する後半です。

中国・広東省広州市から鉄道とバスを乗り継いで雲南省玉溪市元江県甘荘村出身のタイ族の友人を訪ねた永野さん。現地で見えた風景、食べた物、出会った人々すべてが思い深い一人旅になったようです。



左から 永野さん、ご友人のお子さん、ご友人

民族衣装は今では春節や結婚式の時にしか着ないようですが、私も特別に着させていただきました。刺繍がとてもきれいで、生地もしっかりしていて着心地が良かったです。ただこれは「現代版」で、今でこそファスナーやボタンなどがついていますが、昔はすべて紐で結わえるもっと複雑な構造をしていたのだとか…。装飾部品も今はアルミやプラスチックを使っていますが、本来は純銀やガラス製だったので、もっと重たかったそうです。より高価で、脱ぎ着も大変だったでしょうが、その分見た目の美しさはもっと際立っていたのでしょうか。

この刺繍技術は、民族内で母から子へと伝統的に受け継がれているそうです。この村でも、日中多くの女性がそこの家で刺繍にいらして、各々の家庭の壁にも、多くの刺繍作品が飾られていました。ただしこれらは絶対に部外者には売らないのだそうです。そのすべてが、家族を想いながら一針一針刺された一点物で、一種のお守りのようなものでもあるため、お金に換えられないのです。同じタイ族でも、街中へ行けば、観光客向け

にお店を出したり、ネットで不特定多数に作品を販売したりする人もいますが、甘荘の女性たちは、商業的なことに対しては総じて否定的でした。

このほか、昆明や玉溪中心部なども観光し、雲南にはトータルで一週間ほど滞在しましたが、やはりこの甘荘での四日間が印象的で、忘れられない旅となりました。ただ、ここにも開発の波は押し寄せていて、もうすぐ高速鉄道の駅ができるのだそうです。便利になるのは嬉しいことですが、のどかな風景が二度と見られなくなってしまうのだと思うと切なくもあり、昨年の旅が余計に懐かしく、貴重なものに思えます。

私は中国に8年ほど住み、いろいろな場所に行きましたが、その中でもダントツに雲南が好きで、ずっと心惹かれています。また何度も訪れたいですし、いつか住んでみたいとも思っています。ですから、貴協会の活動のお手伝いができることを大変光栄に思います。今はまだコロナのせいで自由に動けませんが、また中国へ戻れる日が来たら、雲南旅行の計画を立てようと、今から楽しみにしています。

理解は絆を強くする 挑戦! 中国百科検定⑥

Q 中国で雲南省を漢字一字で表わすと?

中国百科検定公式テキスト『中国百科』と『中国百科検定問題集』は以前ご紹介しましたが、米中「新冷戦」や経済政策の新動向など新たな話題を網羅した『増補新版』をこの度発行しました。過去の項目の修正のほか新規の書下ろしもありどれも欠かせない話題です。中国百科検定ウェブサイトからダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

中国百科検定ウェブサイト「対策講座動画」の欄では学習動画を公開しています。1月は山本恒人大阪経済大学名誉教授と井手啓二長崎大学・立命館大学名誉教授のお二方の講義を録画した動画を公開しました。中国経済政策上の諸論点をコンパクトに学べるとともに、井手先生の講座では経済・産業についての予備知識の解説も含まれ、最近の情報に限らず経済・産業全般を解説してくださっています。2月には「2014年以降の中国映画」と題し近年成長著しい中国映画産業の紹介動画を公開しました。是非QRコードから訪問してください。今後も中国百科検定ウェブサイト注目していただければと思います。

質問の答え 雲南省は「雲」または「滇」で表します(テキスト増補新版より)。



中国百科検定ウェブサイト



2021年イベント情報

- 「夢は叶う」講演会オンライン開催
日時: 4月または5月中(予定)
場所: 昆明市女子中学(雲南省昆明市)、東京本部
第16期卒業式オンライン開催
日時: 7月上旬(予定)
場所: 昆明市女子中学(雲南省昆明市)、東京本部
全国巡回写真展「笑顔を君に」
日時: 今夏(予定)
場所: 中国文化センター(東京都港区虎ノ門)
協会主催「チャリティーゴルフコンペ」
日時: 10月中(予定)
場所: 未定
設立20周年記念式典
日時: 12月中(予定)
場所: 未定(東京都)

お知らせ

雲南支部第1回 日中韓国際食文化交流会中止

2020年12月26日(土)に雲南省昆明市で開催予定だった「第1回日中韓国際食文化交流会」は新型コロナウイルス感染拡大により、現地政府の通達で中止になりました。

会員募集 & 会費納入のお願い

ひろげよう支援の輪 新規会員募集中
1か月500円からできる教育支援
雲南少数民族の子どもたちに豊かな未来を!
協会を応援して下さる会員を募集します

Table with membership fees: 正会員 一口 6,000円 (500円/月), 賛助会員 一口 12,000円 (1,000円/月), 法人会員 一口 18,000円 (1,500円/月)

※法人会員は3口以上でお願いします
※正会員と法人会員には総会における議決権があります。賛助会員は事業・活動に賛同し、賛助していただくため議決権はありませんが、賛助会費は寄付金控除の対象となります。
※4月1日から3月31日までを1年度とします。
※年度途中でご入会の場合は初年度の会費は入会月から年度末(3月)まで月割で計算させていただきます。
会員には会員証を発行し、会報誌「彩雲の南」を年4回(2月、5月、8月、11月)、お送りいたします。

認定NPO法人日本雲南聯誼協会へのご寄付は寄付金控除の対象となります。協会では随時、皆様からのご寄付を受け付けています。

ご寄付は雲南少数民族への教育支援、協会運営のために大切にに使わせていただきます。

当協会は東京都より認定を受けた「認定NPO法人」です。認定NPO法人への寄付は税制優遇(寄付控除)が受けられます。

①銀行振込

三菱UFJ銀行 目黒駅前支店 普通 1300380
特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会
(トクイエイワット) カクゾンソップ フォンソルンギ ヲウカイ

②郵便振替

振替口座 00100-8-610935
加入者名 特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会
※ 振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

▼お申し込みは...

http://www.jyfa.org

▼詳細・お問合わせ

東京本部事務局
TEL. 03-5206-5260 (平日10~17時)
yunnan@jyfa.org

編集後記

コロナ禍の自粛疲れか、夜も出歩いている若者が増えてきたように思います。仕方ないかなと感じる一方、もし第4波がくれば東京五輪は中止、あるいは無観客かもしれません。頼りのワクチン分配を巡っても、国家間の貧富の差が接種の順番に影響してきたようです。五輪を安全に開催するためには、ワクチンが世界中均等に普及する必要があります。発展途上の国や地域、少数の弱者を守る国際社会の平等性、寛容性が試されると感じます。(編集長・木本一彰)